

2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社リソ-教育

コード番号 4714 URL <https://www.riso-kyoikugroup.com/>

代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）天坊 真彦

問合せ先責任者（役職名）取締役副社長(CFO)（氏名）久米 正明 TEL 03-5996-3701

半期報告書提出予定日 2024年10月10日 配当支払開始予定日 ー

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	16,587	4.1	1,458	39.9	1,456	37.7	893	10.2
2024年2月期中間期	15,940	3.2	1,042	2.5	1,057	1.2	810	26.1

（注）包括利益 2025年2月期中間期 867百万円（2.4%） 2024年2月期中間期 846百万円（27.7%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	5.50	5.48
2024年2月期中間期	5.25	5.24

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期中間期	21,406	11,208	52.0
2024年2月期	18,096	8,484	46.3

（参考）自己資本 2025年2月期中間期 11,133百万円 2024年2月期 8,375百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	0.00	0.00	0.00	10.00	10.00
2025年2月期	0.00	0.00			
2025年2月期（予想）			0.00	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,960	5.4	2,670	1.6	2,670	0.5	1,710	2.9	10.28

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2024年5月28日付で第三者割当による新株式発行を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」は、当該新株式発行の影響を考慮しております。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期中間期	171,806,159株	2024年2月期	156,209,829株
② 期末自己株式数	2025年2月期中間期	1,722,629株	2024年2月期	1,846,230株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年2月期中間期	162,563,280株	2024年2月期中間期	154,363,861株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。なお、連結業績予想に関する事項については（添付資料）3ページ「1. 経営成績等の概況（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、インフレによる物価上昇を背景に賃金の上昇が進み、雇用・所得環境が改善する一方、マイナス金利政策の解除とそれに続く政策金利の追加利上げにより、消費や投資への影響が懸念されるなど、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

当社グループの主要な事業にあたる学習塾業界におきましても、こうした経済状況や進行する少子化に加えて、新学習指導要領の完全実施やGIGAスクール構想による学校へのICT導入、小学校3年生からの英語必修化など、教育を取り巻く環境の変化により、日本の教育投資意識は高まっており、コロナ禍で一時停滞した学習塾市場も拡大が見込まれています。

こうした環境のもと、少子化を前提としたビジネスモデルである当社グループは、「すべては子どもたちの未来のために」という考え方から、生徒一人ひとりの個性に合わせた完全1対1の進学個別指導など、高品質な「本物」の教育サービスを提供し、徹底した差別化戦略によって日本を代表するオンリーワン企業を目指すことを経営の基本方針としております。

また、ヒューリック株式会社のグループ会社になったことでさらに連携が強化されたことに加え、当社、ヒューリック株式会社およびコナミスポーツ株式会社との3社提携による教育特化型ビル「こどもでばーと」の開発や、株式会社伸芽会とコナミスポーツ株式会社との業務提携による「多彩で豊かな人間性をもった文武両道のバランスのとれた子どもを育む」事業の発展など、異業種を含めた他社との提携を推し進めることで、今後も引き続き、高付加価値サービスを提供するとともに、持続的成長と企業価値向上に努めてまいります。

当中間連結会計期間においては、進学個別指導塾「TOMAS」の生徒数が前年同月比2.5%増加、また夏期講習の受講数も順調に推移したほか、学校内個別指導の「スクールTOMAS」では個別指導の受講者数が前年同月比14.8%増加いたしました。

以上の結果、売上高は16,587百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益は1,458百万円（前年同期比39.9%増）、経常利益は1,456百万円（前年同期比37.7%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は893百万円（前年同期比10.2%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりとなります。

①TOMAS（トーマス）[学習塾事業部門]

完全1対1の進学個別指導による高品質な教育サービスを提供し、売上高は8,389百万円（前年同期比4.7%増）、内部売上を含むと8,450百万円（前年同期比5.5%増）となりました。

当中間連結会計期間におきましては、TOMAS最難関大学受験部渋谷校（東京都）、メディックTOMAS渋谷校（東京都）、TOMAS用賀校（東京都）を新規開校、TOMAS南浦和校（埼玉県）を移転リニューアル、TOMAS西日暮里校（東京都）、TOMAS飯田橋校（東京都）をリニューアルいたしました。

②名門会 [家庭教師派遣教育事業部門]

100%プロ社会人講師による教育指導サービスの提供に加え、全国区へ事業展開を図っており、売上高は2,271百万円（前年同期比2.7%減）となりました。

③伸芽会 [幼児教育事業部門]

名門幼稚園・名門小学校受験業界でトップクラスの合格実績を誇る既存事業「伸芽会」に加え、受験対応型の長時間英才託児事業「伸芽'Sクラブ（しんが〜ずくらぶ）」の2つのブランドの充実を図り、売上高は3,119百万円（前年同期比0.5%増）、内部売上を含むと3,146百万円（前年同期比0.8%増）となりました。

当中間連結会計期間におきましては、コナミスポーツ伸芽'Sアカデミー武蔵小杉校（神奈川県）を新規開校、伸芽'Sクラブ学童吉祥寺校（東京都）をリニューアルいたしました。

④スクールTOMAS [学校内個別指導事業部門]

学校内個別指導塾「スクールTOMAS」の営業展開を推し進め、売上高は1,704百万円（前年同期比19.2%増）となりました。

⑤プラスワン教育 [人格情操合宿教育事業部門]

情操分野を育む多彩な体験学習サービスの提供を行い、売上高は1,093百万円（前年同期比3.9%増）、内部売上を含むと1,099百万円（前年同期比3.9%増）となりました。

⑥その他の事業

売上高は9百万円（前年同期比6.6%増）、内部売上を含むと69百万円（前年同期比1.0%減）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は、現金及び預金、有形固定資産、敷金及び保証金の増加、営業未収入金、投資有価証券の減少等により、前連結会計年度末と比較して3,309百万円増加し、21,406百万円となりました。

負債は、未払金、契約負債、退職給付に係る負債の増加、未払法人税等、賞与引当金の減少等により、前連結会計年度末と比較して585百万円増加し、10,197百万円となりました。

純資産は、資本金、資本剰余金の増加、利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末と比較して2,723百万円増加し、11,208百万円となりました。

（3）当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて4,715百万円増加し、10,176百万円（前連結会計年度末5,460百万円）となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は3,248百万円（前年同期に得られた資金は1,883百万円）となりました。

これは主に、税金等調整前中間純利益1,359百万円、減価償却費246百万円、退職給付に係る負債の増加額94百万円、売上債権の減少額1,567百万円、未払金の増加額542百万円、契約負債の増加額186百万円、法人税等の支払額△615百万円等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は378百万円（前年同期に使用した資金は629百万円）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出△309百万円、無形固定資産の取得による支出△75百万円、親会社株式の売却による収入149百万円、敷金及び保証金の差入による支出△112百万円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は1,845百万円（前年同期に使用した資金は2,463百万円）となりました。

これは主に、短期借入れによる収入500百万円、短期借入金の返済による支出△500百万円、株式の発行による収入3,383百万円、配当金の支払額△1,538百万円等によるものです。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績が概ね計画通りに推移していることから、現時点において2024年4月8日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,460,988	10,176,282
営業未収入金	2,784,920	1,217,623
棚卸資産	171,828	227,161
その他	542,739	598,525
貸倒引当金	△5,502	△8,277
流動資産合計	8,954,974	12,211,316
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,950,105	4,202,211
減価償却累計額	△1,876,983	△1,989,364
建物及び構築物(純額)	2,073,122	2,212,846
工具、器具及び備品	2,321,998	2,403,363
減価償却累計額	△977,509	△1,045,028
工具、器具及び備品(純額)	1,344,489	1,358,335
土地	417,963	417,963
建設仮勘定	3,495	3,495
その他	23,541	23,541
減価償却累計額	△7,587	△9,553
その他(純額)	15,953	13,987
有形固定資産合計	3,855,023	4,006,628
無形固定資産		
その他	310,555	312,652
無形固定資産合計	310,555	312,652
投資その他の資産		
投資有価証券	200,019	39,500
繰延税金資産	1,502,592	1,459,478
敷金及び保証金	2,974,002	3,055,860
その他	305,576	326,760
貸倒引当金	△6,072	△6,072
投資その他の資産合計	4,976,118	4,875,527
固定資産合計	9,141,697	9,194,808
資産合計	18,096,672	21,406,124

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
負債の部		
流動負債		
未払金	1,196,199	1,764,864
未払法人税等	707,892	499,945
契約負債	2,410,503	2,597,115
賞与引当金	354,064	279,930
資産除去債務	36,830	18,039
その他	1,025,788	1,034,508
流動負債合計	5,731,279	6,194,402
固定負債		
退職給付に係る負債	2,600,717	2,695,190
資産除去債務	1,276,985	1,306,099
繰延税金負債	2,933	2,217
固定負債合計	3,880,637	4,003,506
負債合計	9,611,916	10,197,909
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,890,415	4,590,415
資本剰余金	2,622,691	4,331,411
利益剰余金	3,331,151	2,680,913
自己株式	△381,348	△355,772
株主資本合計	8,462,910	11,246,969
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,934	△10,684
退職給付に係る調整累計額	△115,436	△103,188
その他の包括利益累計額合計	△87,502	△113,873
新株予約権	109,347	75,118
純資産合計	8,484,755	11,208,214
負債純資産合計	18,096,672	21,406,124

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2023年3月1日 至 2023年8月31日）	当中間連結会計期間 （自 2024年3月1日 至 2024年8月31日）
売上高	15,940,832	16,587,852
売上原価	11,794,295	12,012,099
売上総利益	4,146,536	4,575,753
販売費及び一般管理費	3,103,840	3,117,483
営業利益	1,042,696	1,458,269
営業外収益		
受取利息	11	231
受取配当金	2,297	2,819
未払配当金除斥益	2,545	3,354
助成金収入	2,140	2,664
写真販売収入	2,910	2,196
その他	5,682	4,195
営業外収益合計	15,586	15,460
営業外費用		
支払利息	554	69
株式交付費	—	16,017
為替差損	26	—
その他	286	1,422
営業外費用合計	867	17,509
経常利益	1,057,416	1,456,221
特別利益		
親会社株式売却益	—	44,409
関係会社整理損失引当金戻入額	1,096	—
その他	—	55
特別利益合計	1,096	44,465
特別損失		
固定資産除却損	2,735	37,909
減損損失	—	3,458
移転費用等	1,299	4,068
公開買付関連費用	—	95,977
その他	711	—
特別損失合計	4,746	141,414
税金等調整前中間純利益	1,053,765	1,359,271
法人税等	243,222	465,873
中間純利益	810,543	893,398
非支配株主に帰属する中間純損失（△）	△0	—
親会社株主に帰属する中間純利益	810,543	893,398

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2023年3月1日 至 2023年8月31日）	当中間連結会計期間 （自 2024年3月1日 至 2024年8月31日）
中間純利益	810,543	893,398
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,478	△38,618
為替換算調整勘定	716	—
退職給付に係る調整額	23,139	12,248
その他の包括利益合計	36,334	△26,370
中間包括利益	846,878	867,027
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	846,878	867,027
非支配株主に係る中間包括利益	△0	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,053,765	1,359,271
減価償却費	228,689	246,766
減損損失	—	3,458
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,721	2,775
賞与引当金の増減額(△は減少)	17,051	△74,134
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	120,172	94,472
退職給付に係る調整累計額の増減額(△は減少)	23,139	12,248
関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少)	△1,296	—
受取利息及び受取配当金	△2,308	△3,050
支払利息	554	69
助成金収入	△2,140	△2,664
株式交付費	—	16,017
親会社株式売却益	—	△44,409
固定資産除却損	2,735	37,909
公開買付関連費用	—	95,977
売上債権の増減額(△は増加)	468,379	1,567,297
棚卸資産の増減額(△は増加)	△9,027	△55,333
未払金の増減額(△は減少)	324,950	542,326
契約負債の増減額(△は減少)	14,690	186,611
その他	△95,816	△31,432
小計	2,147,262	3,954,176
利息及び配当金の受取額	2,308	3,050
利息の支払額	△554	△69
助成金の受取額	2,140	2,664
公開買付関連費用の支払額	—	△95,977
法人税等の支払額	△271,957	△615,089
法人税等の還付額	4,788	61
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,883,987	3,248,818
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△422,271	△309,956
無形固定資産の取得による支出	△79,588	△75,796
投資有価証券の取得による支出	△54,900	—
親会社株式の売却による収入	—	149,266
敷金及び保証金の差入による支出	△55,787	△112,905
敷金及び保証金の回収による収入	44,825	31,047
その他	△61,319	△60,330
投資活動によるキャッシュ・フロー	△629,041	△378,674
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,000,000	500,000
短期借入金返済による支出	△1,000,000	△500,000
リース債務の返済による支出	△1,117	—
株式の発行による収入	—	3,383,982
配当金の支払額	△2,461,983	△1,538,898
ストックオプションの行使による収入	—	123
自己株式の取得による支出	△96	△73
自己株式の処分による収入	—	17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,463,197	1,845,150
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,208,251	4,715,294
現金及び現金同等物の期首残高	7,308,410	5,460,988
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△6,706	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,093,452	10,176,282

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

I 前中間連結会計期間（自 2023年3月1日 至 2023年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	学習塾事業	家庭教師 派遣教育事業	幼児教育 事業	学校内個別 指導事業	人格情操合宿 教育事業	計				
売上高										
一時点で移転 される財又は サービス	28	—	141,765	—	328	142,122	9,092	151,214	—	151,214
一定の期間に わたり移転さ れる財又はサ ービス	8,012,581	2,334,209	2,961,355	1,429,401	1,052,070	15,789,618	—	15,789,618	—	15,789,618
顧客との契約 から生じる収 益	8,012,609	2,334,209	3,103,121	1,429,401	1,052,398	15,931,740	9,092	15,940,832	—	15,940,832
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	8,012,609	2,334,209	3,103,121	1,429,401	1,052,398	15,931,740	9,092	15,940,832	—	15,940,832
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	9	—	19,156	—	6,000	25,166	61,208	86,375	△86,375	—
計	8,012,619	2,334,209	3,122,278	1,429,401	1,058,398	15,956,907	70,300	16,027,207	△86,375	15,940,832
セグメント 利益	105,654	94,399	493,084	123,388	40,883	857,409	9,490	866,899	175,796	1,042,696

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。
 2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
 3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自 2024年3月1日 至 2024年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	学習塾事業	家庭教師 派遣教育事業	幼児教育 事業	学校内個別 指導事業	人格情操合宿 教育事業	計				
売上高										
一時点で移転 される財又は サービス	142	—	132,309	—	149	132,601	9,693	142,295	—	142,295
一定の期間に わたり移転さ れる財又はサ ービス	8,389,553	2,271,130	2,987,052	1,704,442	1,093,378	16,445,557	—	16,445,557	—	16,445,557
顧客との契約 から生じる収 益	8,389,695	2,271,130	3,119,361	1,704,442	1,093,528	16,578,158	9,693	16,587,852	—	16,587,852
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	8,389,695	2,271,130	3,119,361	1,704,442	1,093,528	16,578,158	9,693	16,587,852	—	16,587,852
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	60,470	—	26,758	—	6,003	93,232	59,878	153,110	△153,110	—
計	8,450,166	2,271,130	3,146,119	1,704,442	1,099,531	16,671,390	69,571	16,740,962	△153,110	16,587,852
セグメント 利益	328,878	46,309	496,954	264,451	83,314	1,219,909	7,725	1,227,634	230,634	1,458,269

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。
 2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
 3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 (固定資産に係る重要な減損損失)
 重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)
 該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)
 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年4月8日開催の取締役会において、ヒューリック株式会社を割当先として、第三者割当の方法による新株式の発行を行うことについて決議し、2024年5月28日付で払込みが完了しております。
 この結果、当中間連結会計期間において資本金および資本剰余金がそれぞれ1,699,999千円増加し、当中間連結会計期間末において資本金が4,590,415千円、資本剰余金が4,331,411千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。